



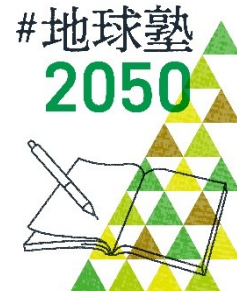
# 新毎日

7月11日(火)

2023(令和5)年

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1  
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



## 未来を「」の手で

脱炭素社会を実現するため、水素の活用はカギとなります。高効率な水素製造装置「ナノバイオ・エレクトロライザー」を開発した、カナダのジャンクロード・テシエ博士(応用科学)とタッグを組んで、さまざまな社会課題の解決に取り組みようとしている人がいます。再生可能エネルギー事業を手がける「くにうみアセットマネジメント」(東京都港区)の山崎養世代表です。7月11日、芝浦工業大学柏中学校(千葉県柏市)の生徒29人に、水素が作り出す新しい社会について話しました。

### 地球に住む

#### 私たちの責務

「地球温暖化」。この言葉を耳にするたび、「どうせ何十年後の話」と思っていました。いま地球で何が起きているのか、これから何が起きているかを知らなかったからです。しかし、今回の地球塾で

スフィア地球儀を見て、北極が一番気温上昇が大きく、今も氷の面積が減り続けているのを知り、考えが変わりました。いま自分にできる対策をやり、それを継続していかうと考えました。また温暖化対策をした場合の温度上昇は、しない場合と比べて目に見えないほどの効果があり、自分が



やる温暖化対策には意味があるのだと実感できました。私たちがしていく温暖化対策は、確実に効果があります。それをこれからも続けることには、これからも地球に住む私たちの責務であり、私もきれいな地球を未来に届けられるようにしたいです。

#### 【有家賢吾】

#### エネルギー革新

#### より良い生活へ

今回の講義を受けて思ったことは、「地球温暖化は深刻なものになっている」ということです。竹村眞一教授がデジタル地球儀で示していた、もし人類が2100年まで化石燃料を使い続けた場合の地球の温度上昇を見た時、私は衝撃を受けました。最低でも

気温が5度ほど上昇し、北極海などでは10度ほど上昇することがわかりました。このままでは北極海の氷が溶け、世界の海水面が上昇し、海面の上昇が深刻なツバルなどの島国が完全に沈んでしまうと思いました。

山崎さんからは次世代のエネルギー(水素)についての話を聞きました。現在、注目されている再生可能エネルギーは天候などに左右されています。しかし、水素製造装置は天候に左右されず、クリーンにエネルギーを発生させることができます。CO2を発生させずに電気を発生させることができ、地球温暖化対策につながっています。エネルギーの革新が、私たちの生活をより良くすると思いました。

#### 【長田宗親】



私たちにできること

次の世代へ受け継ぐ

今まで自分は水素エネルギーと聞いても、「へー、そんなものがあるんだ」としか思っていないでした。しかし、デジタル地球儀で表された、何の対策もしない場合の未来の地球を見て、思った以上に地球温暖化は深刻化してきていることが分かりました。この結果を見て、自分のできることをやってみようという気になりました。この問題の解決は、水素エネルギーなどのアイデアもありますが、その力ばかりに頼ってはいただけません。確かにこの講義を聞いて、水素エネルギー

は大きな可能性を持っていることはわかりました。しかし、だからといって今のうちに二酸化炭素を無駄に出し続けていては、どれだけエコの活動をしていても、いずれ限界が来てしまい、地球が壊れてしまいます。だからこそ、「まだ大丈夫」という甘い考えは捨てて、今、行動しないといけないとわかりました。エコ活動を続けた場合の未来の地球は温度変化が抑えられていました。私たちが今、行動することは、未来にきつと役立ちます。私たちや次の世代のために、これからの自分の行動を考えようと思いました。

【上田信裕】



私たちがやるべきこと

私は今回の講義で、環境問題を解決することは、私たちや次の世代の未来を決めることだと強く感じました。自然だけでなく、間接的に世界的情勢、世界平和にまで影響を与えうる環境問題の解決は、未来のために避けて通れないものだと思います。水素のように、環境問題を解決するための策は少しずつ発見されてきています。現在それらを研究している方々は、早い段階から未来の地球を考えてきた方々です。しかし、その未来を生きるのは私たちやその次の世代です。環境問題を解決するために動くべきなのは私たちではないか、私はそう思いました。今は学生で未熟



な身です。しかし、だからこそできることもあるはずですよ。今は準備期間だと思つて、さまざまなことに取り組むのも、ありなのではないかと思いました。未来は自ら創るもの、私はそう思いました。

【大谷航士郎】

